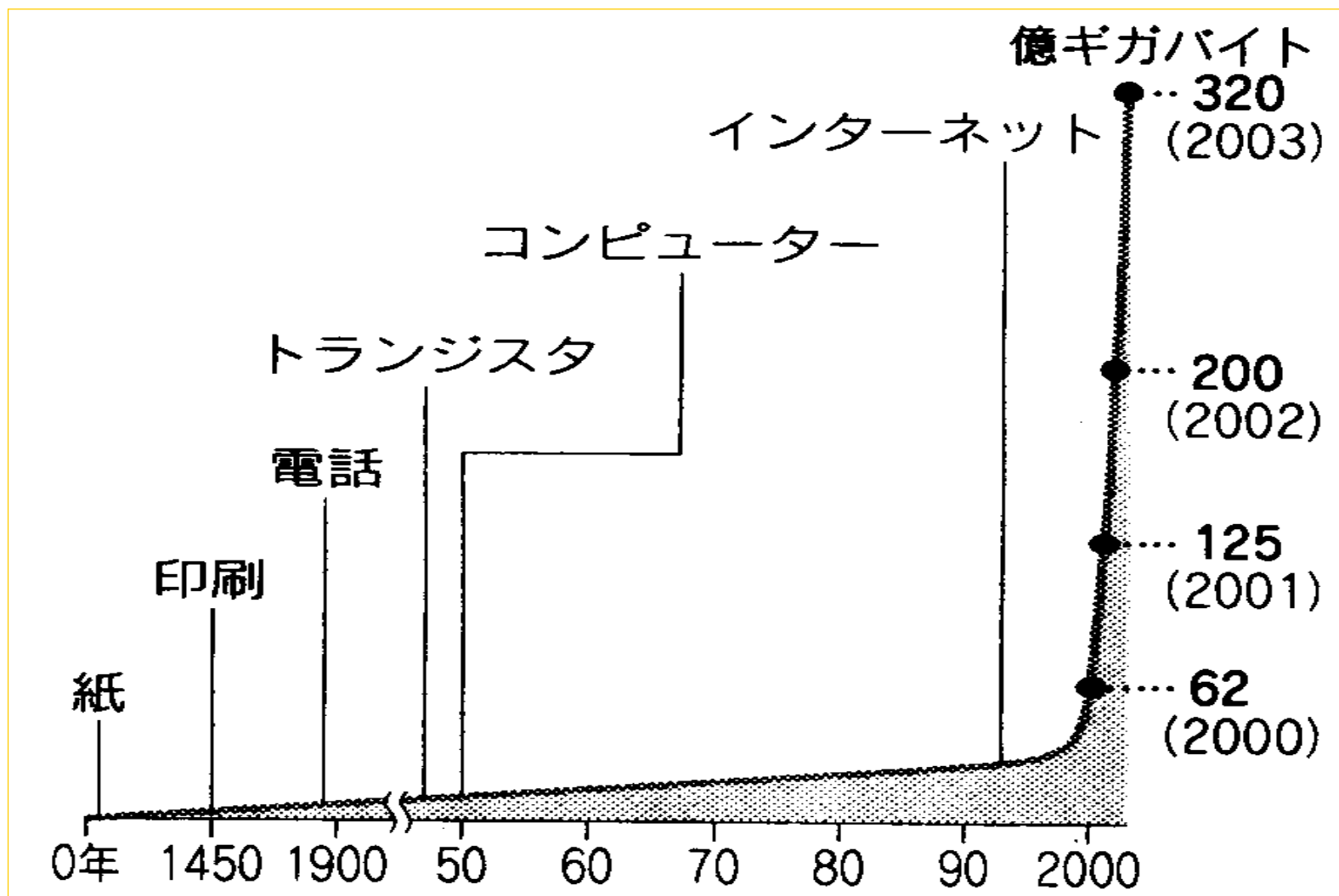


情報量の推移



ほとんどの情報がインターネットで得られる時代になった。¹

インターネット(The Internet)とは

世界中のコンピュータが相互に接続された巨大なコンピュータネットワーク。
インターネットに接続すれば、自分のパソコンもインターネットの一部になる。
狭い範囲(家庭内や大学内など)に限定されたコンピュータネットワークを
LAN (Local Area Network)と呼ぶ。

インターネットにより、それぞれのコンピュータのデータ等を公開できる。これがウェブ(Web)である。ホームページとは、正確には、Webページのトップページのことである。

ウェブは、各コンピュータがノード(結節点)となり、巨大なクモの巣に例えることができるため、ワールド・ワイド・ウェブ(WWW; World Wide Web)と呼ばれる。

インターネットは、情報を接続されているコンピュータ間でリレーさせることによって、「電子メール」や「ファイル転送」なども可能にしている。

インターネットには、悪意を持った利用者のコンピュータも存在する。

プロキシサーバ(代理サーバ)

大学のLANに接続しているパソコンは、直接ではなく、プロキシサーバ(proxy server)というコンピュータを経由して外部のインターネット(外部のコンピュータ)に接続している。

企業でも、個々のパソコンは外部とは遮断され、Proxyだけをインターネットに接続しているところが多い。

プロキシサーバの役割

LANとインターネット間で、必要なものだけを通過させる。(不要なものや、悪質なものは通過させない。つまり、内部から特定の種類の接続だけを許可したり、外部からの不正なアクセスを遮断できるので、セキュリティが向上する。)

頻繁に見るWebサイトなどを一時的に保存しておくので、それらに速くアクセスできる。
(キャッシュサーバの役割)

Proxy設定法の1例。

Internet Explore を起動する。

「ツール」メニュー 「インターネットオプション」 「接続」タブ 「LANの設定」とクリック。

「プロキシサーバを使用するにチェックを入れ、プロキシのアドレスとポート番号を入力する。

「OK」ボタンを2回クリックする。

情報コンセントへの接続法(1)

proxyの設定

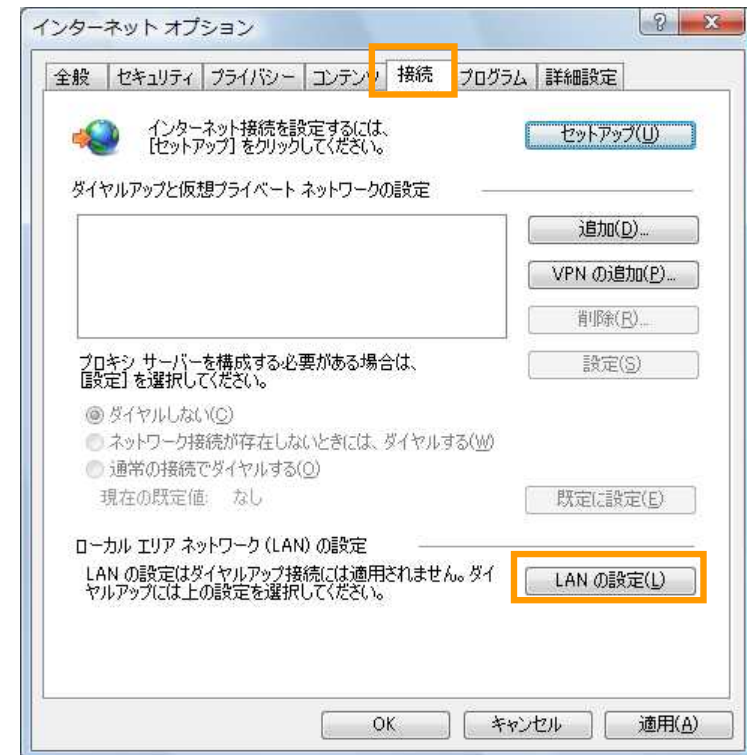
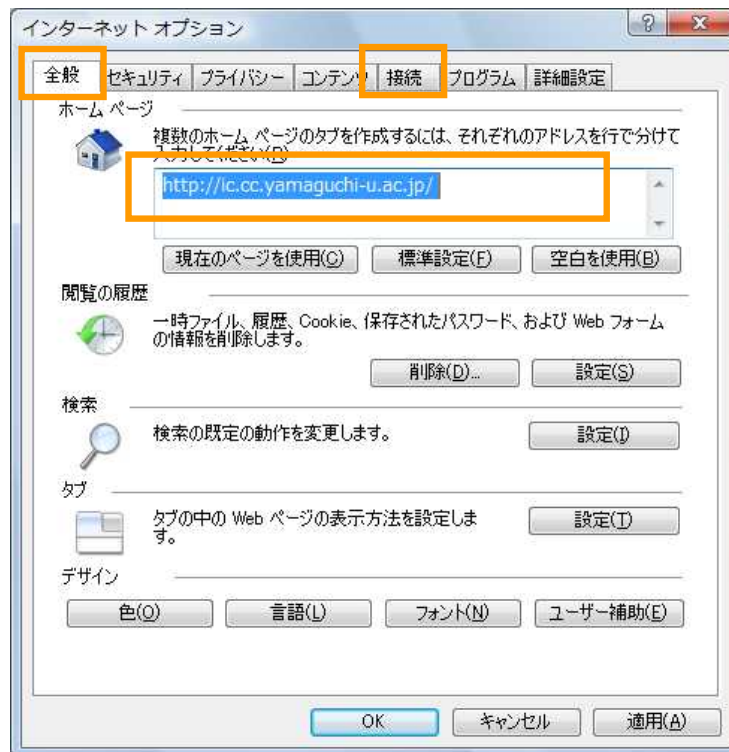
「スタート」 「すべてのプログラム」 「Internet Explorer」とクリックする。

「ツール」メニュー 「インターネットオプション」 「全般」タブをクリックする。

「スタート」 「コントロールパネル」 「ネットワークとインターネット」 「インターネット オプション」 「全般」タブをクリックしてもよい。

「ホームページ」部分の「アドレス」欄に <http://ic.cc.yamaguchi-u.ac.jp/>と半角英数文字で入力する。

「接続」タブ 「LANの設定」ボタンをクリックする。



情報コンセントへの接続法(2)

「プロキシサーバ」欄の「プロキシサーバを使用する」とその下の「ローカルアドレスにはプロキシサーバは使用しない」にチェックを入れ、「詳細設定」ボタンをクリックする。

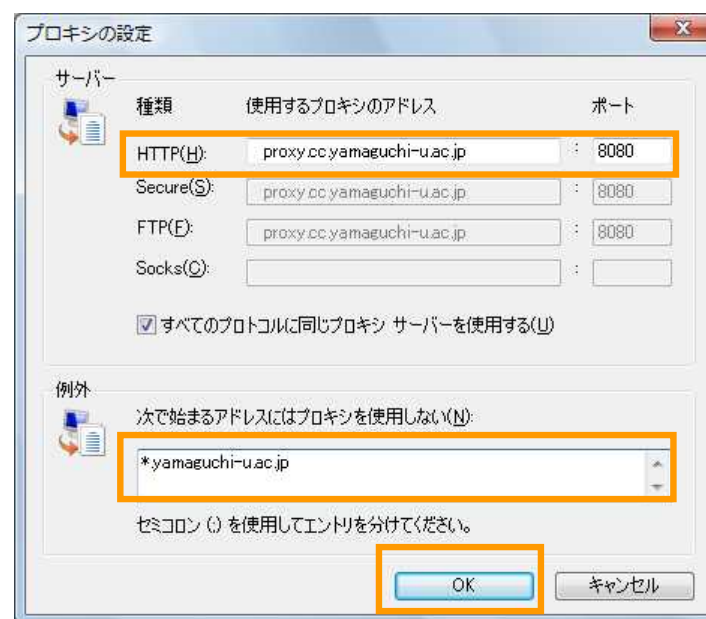
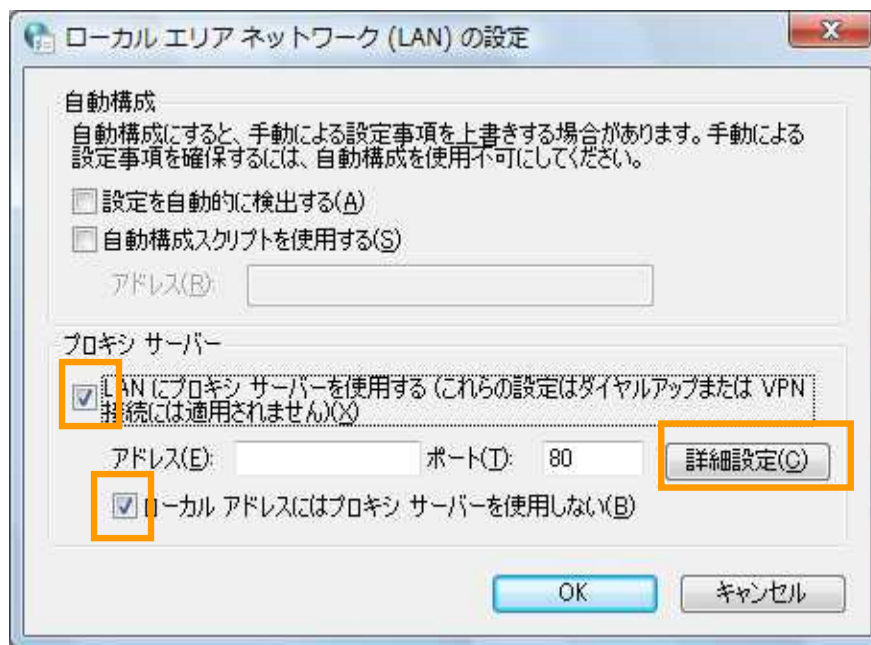
自動設定部分のチェックは2つとも外しておく。

「プロキシの設定」画面の「HTTP」に半角英数字で `proxy.cc.yamaguchi-u.ac.jp`

その横の「ポート番号」欄に `8080` と記入する。(他のサーバ欄は空白)

下の「すべてのプロトコルに同じプロキシ サーバを使用する」にチェックを入れる。

すぐ下の「例外」の記入欄に `*.yamaguchi-u.ac.jp` と記入し「OK」をクリックする。



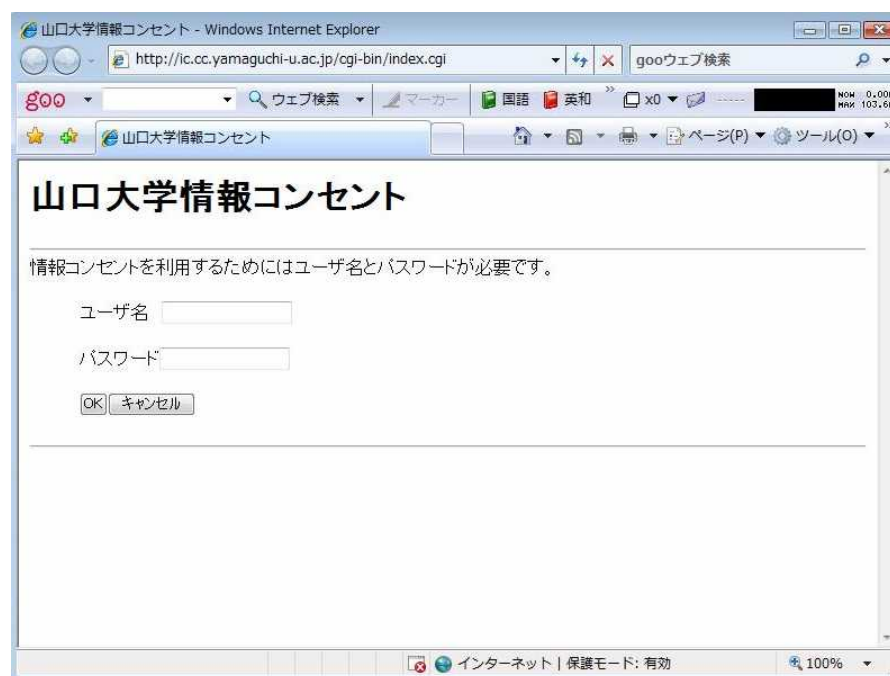
情報コンセントへの接続法(3) - ユーザー認証

インターネットに接続するにはユーザー認証が必要

「スタート」メニューから「Internet Explorer」を起動させる。

自動的に <http://ic.cc.yamaguchi-u.ac.jp> にジャンプするので、大学から与えられたユーザー名とパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックする。

「パスワードを受け付けました。プロキシの設定をしてください。」というメッセージが出るが、プロキシの設定は済んでいるので、そのままインターネットを利用できる。



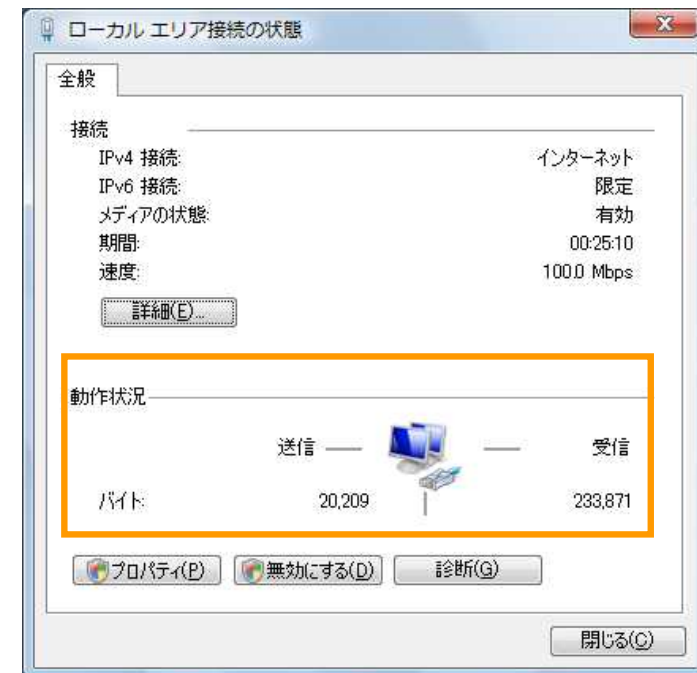
ネットワークの設定の確認

「スタート」 「コントロールパネル」 「ネットワークとインターネット」とクリックする。

「ネットワークと共有センター」部分の「ネットワークの状態とタスクの表示」とクリックする。

「状態の表示」をクリックする。

「動作状況」欄で送受信が行われていることを確かめる。



読み込みの中止と再読み込み(更新)

ブラウザ(Browser):

Webページを閲覧するためのソフトウェア。Windowsに付属している「Internet Explorer」(インターネットエクスプローラ)が最も広く使われている。

一度見たWebページは、一時的に保存される。再度見るときは、その保存されたページが表示されることが多い。

保存期間や保存容量の設定は変更できる。

最新のページを見たいときには、「更新」ボタンを押す。そのことにより、最新の情報が得られる。



「お気に入り」の使用方法

「お気に入り」(Favorit)とは:

Webページを登録して、クリックだけでそのWebページを表示する機能。
いちいち、URL(アドレス)を入力する必要がない。

「お気に入り」の使い方

メニューバーの「お気に入り」をクリックする。

表示されるメニューで、開きたいWebページの名前をクリックする。

そのWebページが開く。

「お気に入り」の利点:

マウス操作だけでWebページを開ける。

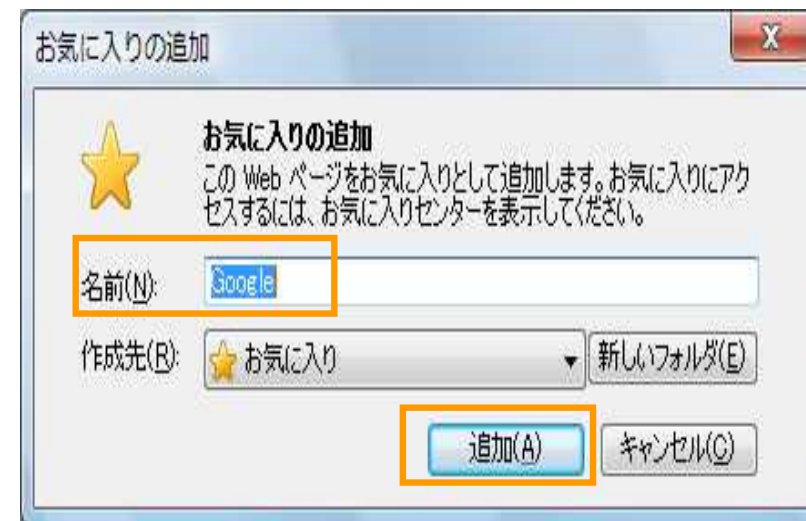
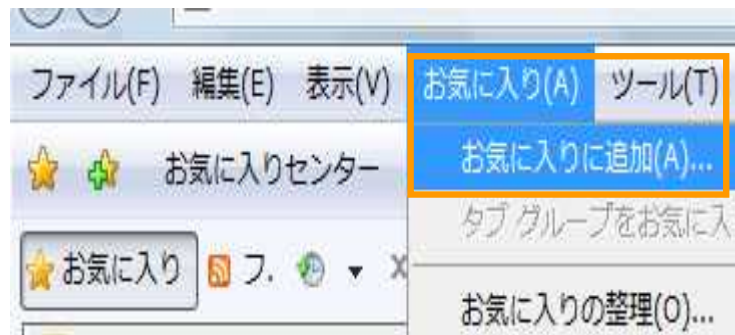
「お気に入り」への登録法

「お気に入り」への登録法

登録したいWebページを開く。

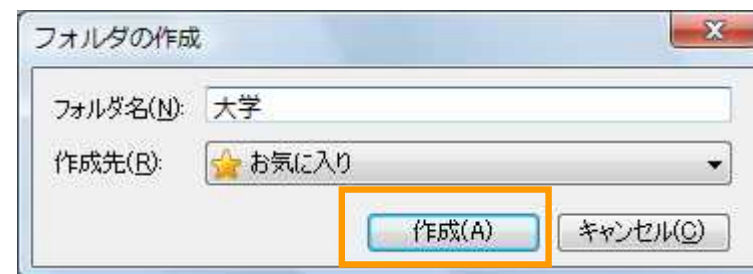
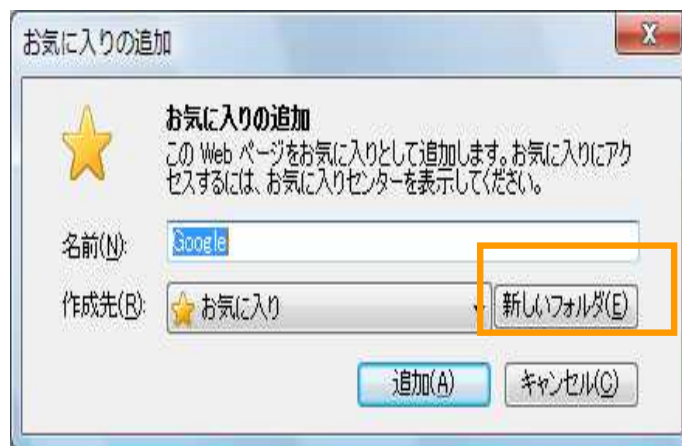
メニューバーの「お気に入り」「お気に入りの追加」とクリックする。

「お気に入り」の追加」ダイアログボックスで、フォルダ等を指定し、「追加」ボタンをクリックする。名前を変えることもできる。



「お気に入り」にフォルダを作る

「お気に入り」「お気に入りの追加」「新しいフォルダ」ボタンをクリックする。
「フォルダ名」を入力し、「作成」ボタンをクリックする。



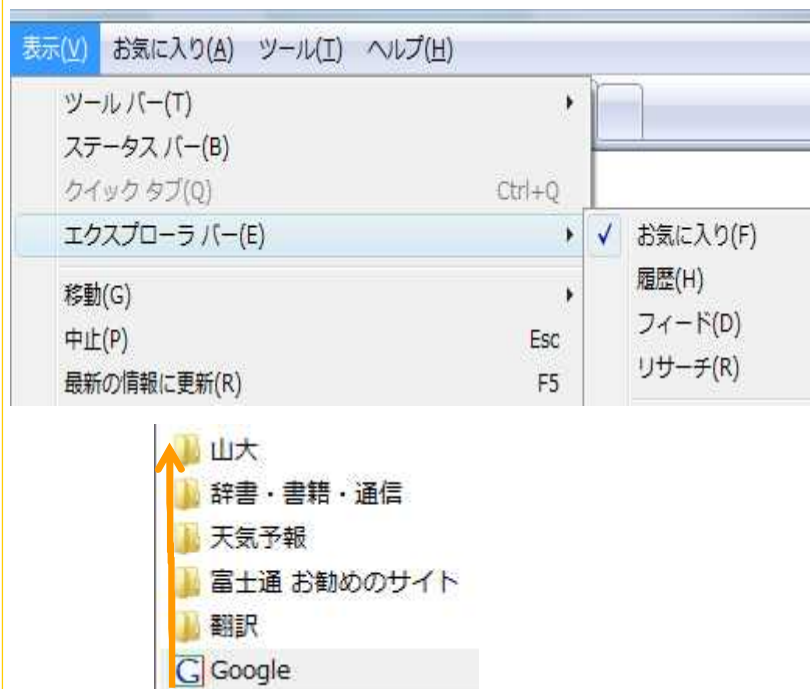
サイト名をフォルダに入れて整理する

「エクスプローラバー」に「お気に入り」が表示されていなかったら、表示させる。

「表示」「エクスプローラバー」「お気に入り」とクリックする。

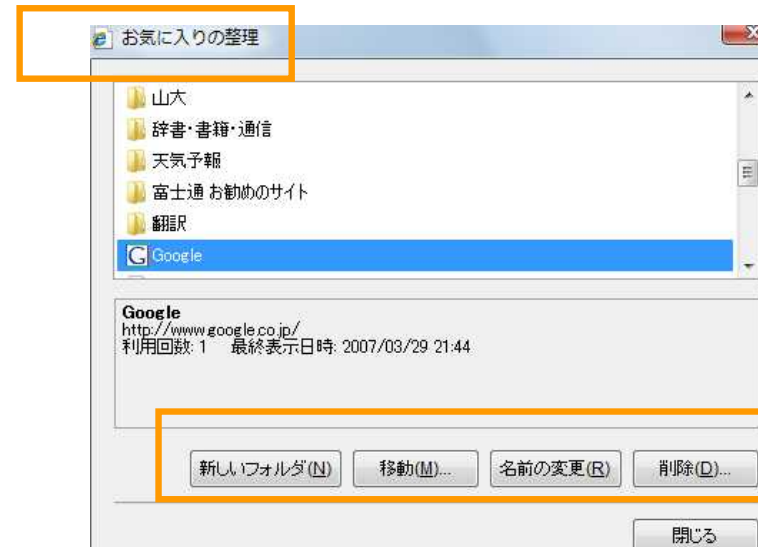
整理したいサイト名を適当なフォルダにドラッグ&ドロップする。

作成したフォルダをクリックして開き、ドラッグ&ドロップしたものがそこにあることを確認してみよう。



別法:

「お気に入りの整理」(スライド10の図)から移動、削除などを行う方法もある。



登録したサイトの削除法

「お気に入り」への登録数が増えると探しにくくなる 削除も必要

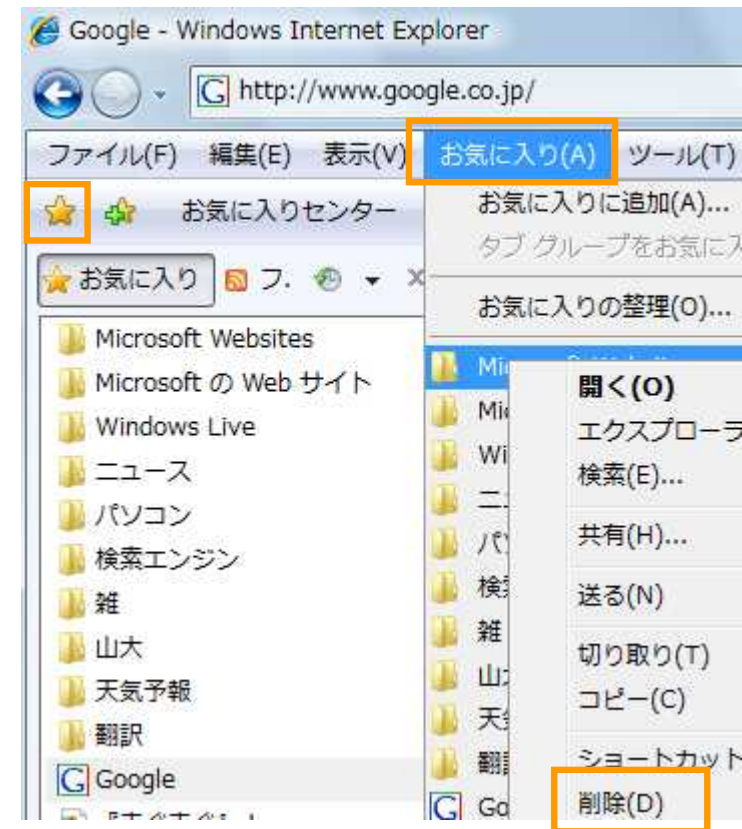
2つの「お気に入り」のどちらかを表示する。
「お気に入りセンター」またはメニューバーの「お気に入り」のクリックで表示される。

削除したいサイト名上で右クリックする。

表示されたメニューの中から「削除」をクリックする。

「ゴミ箱に移してもよろしいですか?」と聞かれるので、「はい」をクリックする。

「ごみ箱」から元に戻すことはできるが、削除は慎重に。



別法:

「お気に入りの整理」(スライド10の図) から削除などを行う方法もある。

Webページの保存法

「ファイル」メニュー 「名前を付けて保存」とクリックする。

「保存する場所」と「ファイルの種類」を指定し、「保存」ボタンを押す。

「ファイルの種類」

Web ページ、完全：

文字データと画像などのデータが分離して保存。画像と文字とを別々に使える。

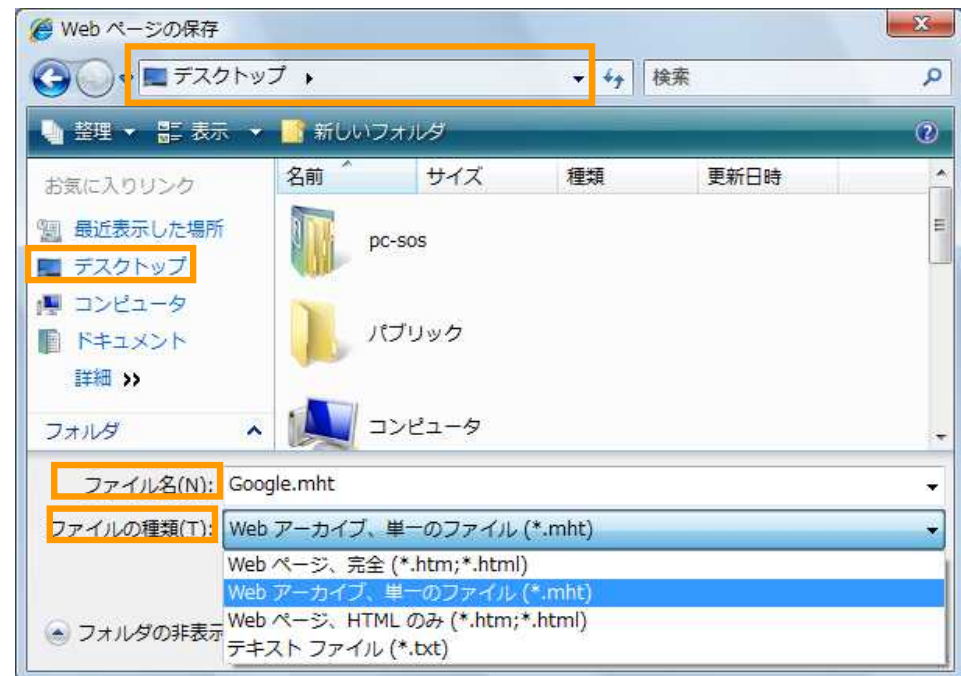
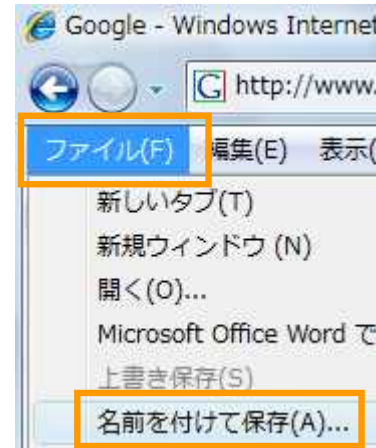
Webアーカイブ、単一のファイル： 文字と画像が1つのファイルとして保存される。メールへの添付等で便利。

Webページ、HTMLのみ：

文字だけが書式付で保存される。
データのサイズが小さい。

テキストファイル：

文字データだけがテキスト形式で保存される。



課題

課題1 デスクトップ上に、学籍番号と氏名をフォルダ名とするフォルダを作成せよ。

デスクトップ上の何もない所で右クリックし、「新規作成」「フォルダ」とクリックする。名前を入力する。

課題2 インターネットとはどのようなものをワードに箇条書きし、それを作成したフォルダ内に保存せよ。

課題3 「お気に入り」に「大学」というフォルダを作成し、そこに「情報処理 演習」のページを「演習」という名前で登録せよ。

課題4 「お気に入り」をデスクトップ上に出力せよ。

ブラウザで、「ファイル」メニュー 「インポートおよびエクスポート」 「次へ」
「お気に入りのエクスポート」 「次へ」 「次へ」 「参照」ボタンをクリック。
デスクトップのフォルダを指定し、「保存」ボタン 「次へ」 「完了」とクリック。

課題5 作成したフォルダを指定の方法で提出せよ。

